

**【事例 H24-03-13】佐賀県武雄市****ゲートキーパー養成研修事業**

地域で主に食を通して住民へ健康づくりの普及啓発を行うヘルスマイト(食生活改善推進員)養成講座の中で、心の健康づくりについての講義を実施した。講義の内容は、精神科医からは主にうつ病について、保健師からは市における健康づくり事業と相談窓口の紹介を行った。今回の事業では、これから地域でヘルスマイトとして活動する人を対象とすることで、より心の健康づくりに関心を持ってもらう機会となった。

**【実施主体】** 佐賀県武雄市**【大綱の分類】** 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する取組**【事業予算】** 平成 23 年度 118 千円**【利 点】** ヘルスマイトがゲートキーパーの役割をも担うことができた**【実施に至るまで】****【背景・必要性・理由の概要・等】**

武雄市における自殺者数は、平成 17 年以降年間 15 人前後で推移しているが、男性の自殺者が多い。また、人口 10 万人当たりの自殺者数は、全国や県よりも多い状況である。自殺の原因は不明であるが、まず誰かに相談したり、周りの人が変化に気づくことが重要であり、身近な相談相手としてゲートキーパーを増やしていくことが必要と考えた。そこで、地域で主に食を通して住民へ健康づくりの普及啓発を行うヘルスマイト(食生活改善推進員)養成講座の中で、心の健康づくりについての講義を実施し、住民に、より近いゲートキーパーを養成することを目的とした。

**【計画を立てる上での工夫・等】**

ヘルスマイト養成講座については市が開催し、精神科医の協力で実施。

**【具体的な内容・実施の過程】**

ヘルスマイト(食生活改善推進員)の養成講座の中で、「こころの健康づくり」についてプログラムを組み、精神科医と保健師の講義を実施。精神科医からは主にうつ病について、保健師からは市における健康づくり事業と相談窓口の紹介を行った。

**【成 果】**

受講生 24 名

今回の事業では、これから地域でヘルスマイトとして活動する人を対象とすることで、より心の健康づくりに関心を持ってもらう機会となった。精神科医の講義は、受

講生からの質問に答える形で実施し、精神疾患や自殺について身近な問題として関心を持って受講できたのではないか。

**【補 足】**

今後食生活改善推進協議会が開催する講習会などでも、心の健康づくりについて情報提供等を行い、住民により近いゲートキーパーとしての役割を担ってもらいたい。

**【課 題】**

**【事業種別】** 人材養成事業

**【準備期間・人数】** 準備期間は不明・担当1人

**【予防段階】** 1次予防

**【自治体規模】** 平成23年度 51,485人

**【自治体負担率】** 負担率0%

**【事業対象】** ヘルスマイト養成講座受講生

**【支援対象】** 住民

**【実施主体・問合せ先】** 武雄市暮らし部健康課

TEL:0954 - 23 - 9135

E-mail:kenkou@city.takeo.lg.jp

URL : <http://www.city.takeo.lg.jp/>

**【参考資料・文献】** 佐賀県保健統計年報

**【作成日】**